

道内書店各位
寿郎社より

本日(1/21)の毎日新聞に、新刊(紹介されました)『2月1日早朝、ミャンマー最後の戦争が始まった。』が

毎 日 新 聞 北海道 北海道A 2024年(令和6年)11月21日(木) 〔第3種郵便物認可〕

自由への思い 筆に込め

ミャンマー民主化運動の実情漫画に



「2月1日早朝、ミャンマー最後の戦争が始まった。」を示す下郷沙季さん—札幌市北区の寿郎社で

ミャンマーの軍事クーデターに対抗する命がけの市民の抵抗を描いた漫画「2月1日早朝、ミャンマー最後の戦争が始まった。」が寿郎社(札幌市)から翻訳出版された。原著は中国語、英語の2カ国語併記。作画は台湾在住の漫画家、柳廣成さん(りゅうこうせい)が担当した。自由を求める民主化運動の切実な思いが力強い筆致によって伝わってくる。【安味伸一】

柳さんは香港生まれで2歳から9歳まで京都で暮らした。香港の民主化運動などをテーマにした漫画に社会的な漫画本を出している。脚本はフランス人ジャーナリストで、ミャンマーの民主化運動を支援するフレデリック・ドゥボミさん。登場人物の言葉は主にミャンマー人から取材した内容や報道記事の引用だ。翻訳はミャンマー出身の京都精華大のナン

だが、軍の独裁に一変。軍事政権はNLDのリーダー、アウンサンズーチーさんを逮捕した。市民らはデモ行進や軍需企業の製品を買わない、「市民的不服従運動」を展開した。漫画は、権力への抵抗のサインとされる三本指を立ててデモをしていた19歳の女性タンサー、チエズンさんが軍によって銃撃、死亡するなど非情な現実を描く。

原著の表紙は、民主化運動の象徴となったチエズンさんを柳さんが芸術的に描いた。一方、10月に出版された日本語版は掲載漫画のうちデモ行進で「FREE」(自由)と書

台湾在住・柳廣成さん作画 札幌・寿郎社が翻訳出版

2月1日早朝、ミャンマー最後の戦争が始まった。この地獄をどう終わらせるか

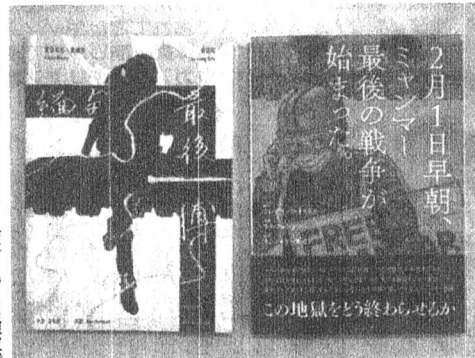
台湾で出版された原著(左)と寿郎社の日本語版。表紙デザインが全く異なる—札幌市内で

「ミャンマーを知る市民講座」(全5回)を企画した。講師陣の一人だったナンミャケーカイン特任准教授と面識があり、今回の翻訳に結びついた。

ミャンマーはビルマ民族をはじめロヒンギヤなどの多民族国家で、少数民族に対する迫害の実態もリアルに描写した。原著は23年2月に(漫工出版) (台) 22000円。

かかれたイラストを手にした」と話す。下郷さんは北海道大大学院メディア・コミュニケーション研究院の学術研究員。22年に「ミャンマーを知る市民講座」(全5回)を企画した。講師陣の一人だったナンミャケーカイン特任准教授と面識があり、今回の翻訳に結びついた。

ミャンマーはビルマ民族をはじめロヒンギヤなどの多民族国家で、少数民族に対する迫害の実態もリアルに描写した。原著は23年2月に(漫工出版) (台) 22000円。



台湾で出版された原著(左)と寿郎社の日本語版。表紙デザインが全く異なる—札幌市内で

ご注文は下記にご記入の上→寿郎社 FAX011-708-8566

流通センター取扱品 地小出版 書店(告知) 発行 寿郎社	脚本 フレデリック・ドゥボミ 作画 ラウ・クオンシン 翻訳 ナンミャケーカイン	定価(税別) 2000円	発行日 月 日
	冊数 冊	書名 2月1日早朝、ミャンマー最後の戦争が始まった。 ISBN 978-4-909281-63-0 C0931	
▼個人注文票 国、が注文する場合は必ず冊数をおおる郵便番号とご住所を電話番号をご記入のうえ、書名をお持ちいただくか寿郎社までFAXかメールでお送りください。寿郎社にご注文いただいた場合は1冊3000円の送料がかかります。			
お名前	ご住所	郵便番号	

EX-11 info@ 寿郎社 TEL011-708-8565
 jurousha.com FAX011-708-8566